



# 新型コロナウイルスの影響下における競技会・試合運営について

一般財団法人福島県サッカー協会

一般財団法人福島県サッカー協会主催大会における試合運営に関して、以下の通りとします。各チームにおいても事前に確認の上、試合当日の参加をお願いします。

## 1. 事前の対応

**主管委員会及び参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前、試合日、事後に相互に連絡を取り合える環境を構築してください。**

### (1) 参加者への連絡事項

- ① 以下の事項に該当する場合は**自主的に参加を見合わせる**こと  
体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）  
同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる  
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者**全員がマスクを着用**する。
- ③ 参加者全員の**健康チェックリストを作成し提出**してもらう。※
- ④ 競技会に参加する上で福島FAが示す注意事項を遵守してもらう。

#### **※健康チェックリスト記載事項（書式は福島FAホームページからダウンロードできます）**

- ① 氏名、生年月日、住所、連絡先（電話番号、Emailアドレス）※個人情報の取扱いに十分注意する
- ② イベント1週間前から当日までの体温
- ③ 競技会前2週間における以下の事項の有無  
平熱を超える発熱  
咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状  
だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）  
臭覚や味覚の異常  
体が重く感じる、疲れやすい等  
新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無  
同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合  
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※チームの感染対策責任者は、選手及びスタッフの健康チェックリストを大会本部に提出してください。

※大会の感染対策責任者は提出された健康チェックリストを確認し、体調等の問題のある選手及びスタッフは参加を見合わせるように指示します。

### (2) 監督会議／代表者会議

監督会議／代表者会議は**原則として事前にオンラインで開催**してください。オンライン開催が難しい場合は、参加チームへの連絡事項・注意事項等をメールで展開し、当日に紙で配布するなど工夫して下さい。

ユニフォーム決定については、**主管委員会及び審判委員会で事前に決定**して参加チームに通達してもよい。

## 2. 競技会会場における感染防止対策

### (1) 諸室（運営諸室における対応）

運営諸室において、以下の対応を行ってください。

各部屋に**アルコール消毒液を設置**する。

**全てのドア及び窓を開け**、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。

ドリンクを冷やすためのドブ漬けは使用しない。

座席を設置する際に**前後左右 1.5~2m間隔をあけ**、お互いが正面に座らないよう配慮する。

喫煙所は設けない。

## (2) 手洗い場所

関係者、参加チームの選手・スタッフが競技会の際に手洗いをこまめに行えるよう、以下の対応を行ってください。

手洗い場には**ポンプ型の液体または泡石鹸**を用意する。

**「手洗いは30秒以上」等の掲示**をする。

手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）

**アルコール消毒液を設置**する。

## (3) トイレ

トイレについても感染リスクが比較的高いと考えられることから、以下の対応を行ってください。

便器の**蓋を閉めて汚物を流す**よう表示する。

手洗い場には**ポンプ式液体または泡石鹸**を用意する。

**「手洗いは30秒以上」等の掲示**をする。

手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）

**アルコール消毒液を設置**する。

## (4) ロッカールーム

ロッカールームは3つの密が揃うため、感染リスクが高いと考えられます。大会主催者及び大会運営本部は、ロッカールームについて以下の準備をしてください。

広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける。

ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する、別室を用意する、または外部にテントを設置する措置を講じる。

室内又はスペース内で**複数の参加者が触れると考えられる場所については消毒**する。

（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子、マッサージベッド等）

一日に同会場で複数試合を行う場合は、**試合終了毎に消毒**する。

換気扇を常に回す、2つ以上のドア、**窓を開けっ放しにして常時換気**を行う。

### ◆チームの注意事項

選手及びスタッフは**マスクを着用**し、会話を最小限に留める。

選手及びスタッフはロッカールームの**滞在時間を短く**するため着替えに限定する。

選手及びスタッフは**シャワーを交代で使用**し、密集を避ける。

## (5) 審判控室

大会主催者及び大会運営本部は、審判控室について以下の準備をしてください。

広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける。

ゆとりを持たせることが難しい場合は、別室を用意する、または外部にテントを設置する措置を講じる。

室内又はスペース内で**複数の参加者が触れると考えられる場所については消毒**する。

（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）

換気扇を常に回す、2つ以上のドア、**窓を開けっ放しにして常時換気**を行う。

### ◆審判員の注意事項

審判員は**マスクを着用**し、会話を最小限に留める。

審判員は審判控室の**滞在時間を短く**するため着替えに限定する。

審判員は**シャワーを交代で使用**し、密集を避ける。

審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

(6) ベンチ

ベンチで間隔を空けて座れるよう、テント等で追加ベンチを設置してください。尚、暑熱対策上、**屋根なしで椅子を並べるのは不可**とします。一日に同会場で複数試合を行う場合は、**試合終了毎にベンチの消毒**を行ってください。

(7) 来場者対応

感染観察都道府県において観客を入れる、または限定的に入れる判断は、**開催自治体の方針に従ってください**。以下の**項目の実行が難しいと判断された場合は、無観客試合を検討**します。

◆事前通達

競技会に観戦者を入れる場合には、観戦エリアにおいて3つの密を避ける対応を心掛けてください。以下の留意事項について、事前にホームページ等で周知徹底してください。

体調の悪い人は来場を控える

来場する際は**マスクを着用**する

大声での声援や大旗を使つての応援は行わない

場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える

◆試合当日

競技会に観戦者を入れる場合には、以下の点に留意してください。

試合会場各所（入退場ゲート、トイレ等）に**アルコール消毒液を設置**する。

入場時に**来場者の体温チェック**が推奨される。体調の悪い人への観戦自粛を促すアナウンスを徹底する。

飲食売店の運営は、安全対策に十分配慮した上で判断する。ドブ漬けを使用したドリンクの販売は行わない。

喫煙所は設けない。

場内アナウンス、電光掲示板等で、上記「事前通達」事項のアナウンスを随時行い、守らない方には直接注意する。

注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置を講じる。

(8) マッチコーディネーションミーティング（MCM）におけるチームへの伝達事項

**主管委員会の感染対策責任者はMCMに出席**し、運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を参加チームに伝えてください。

試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手、両チームベンチへの挨拶は実施しない

エスコートキッズ、チームでの円陣は実施しない

倒れた選手に手を貸したり、得点時にハイタッチ、抱擁を行わない

ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない

口に含んだ水を吐かない

ボトル、水・氷を溜めたクーラーボックス、タオルを共有しない

ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する

**ベンチではマスクを着用**し、会話を控える

※感染防止対策をするとともに、夏季における競技会においては熱中症予防にも十分配慮してください。

『JFA 熱中症対策ガイドライン』に沿って飲水タイムやCoolig Breakを実施し、状況によってはフレキシブルに対応してもよい。

(9) メディア対応における注意事項

◆事前準備

競技会・試合の取材申請を事前に受け付け、取材者に対して事前に感染防止対策を周知徹底する。

(ア) 以下の事項に該当する場合は**自主的に来場を見合わせる**こと

体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる

過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(イ) **マスクを常時着用**する

(ウ) **健康管理表を作成し入場時に提出**する

(エ) 競技会に参加する上で主管 F A が示す注意事項を遵守してもらう

取材申請時に健康管理表を送付し、当日受付で提出してもらってください。

#### ◆試合会場のメディア設営

競技者とメディアの不要な接触を避けるための**メディア動線を作成**し、以下に留意して設営を行ってください。

記者室や記者席、記者会見場では、各記者が前後左右 1.5m～2m 間隔で座ることができるよう、座席を配置する。

記者室、記者会見場の入口に**アルコール消毒液を設置**し、全ての**ドア及び窓を開けっ放し**にする。

3 つの密を回避できる部屋がない場合、記者室を設置しないことも検討する。

記者会見場の大きさに応じて記者の数を限定する。競技会会場に会見場がない、または 3 密を回避できない場合、感染リスクを回避できるスペースにミックスゾーンを設置してメディア対応する。

ミックスゾーンにおいても換気を十分行い、取材中、選手取材者が 2m の距離を保てるようにプラ柵等を設置する。

#### ◆当日のメディア運営（受付時に検温）

受付時に健康チェックリストの提出を求め、検温を実施して、以下の留意事項を伝えてください。

常時**マスクを着用**し、不必要な会話を控える。

代表質問を行うなど、取材者の人数も必要最小限となるように調整する。

選手との距離は 2m 以上取り、取材者同士も、最低 1m 間隔を保つ。

できるだけ**短い時間で取材**を終える。

#### (10) ゴミの廃棄方法

ゴミを収集する際は、**マスクや手袋を必ず着用**してください。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄してください。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

これら(1)~(10)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主管 F A、参加チームは、その点を理解した上で、競技会に参加してください。

また、各諸室の窓、ドアの開放、運営関係者及びチーム関係者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まります。**こまめな水分補給を心掛け**ましょう。

### 3. 事後対応

(1)万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加選手・スタッフ、メディア、運営関係者から提出された**健康管理表を、保存期間（少なくとも 1 ヶ月）を明記した上で保存**しておくようにしてください。

(2)競技会終了後**3 日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡**を取り、具合の悪い選手・スタッフがいなかったか確認してください。

(3)万が一運営スタッフの中から競技会終了後 14 日以内に新型コロナウイルス感染症の**感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、JFA にその旨ご報告**ください。また、チームから競技会終了後 14 日以内に感染者発生のご報告があった場合にも、同様にその旨 JFA にご報告ください。

#### 【追記】

\*本ガイドラインは、画一的な対応を促すものではありません。あくまでも、感染防止対策の参考とし、主管委員会及び大会運営者が状況に応じて対応を指示してください。対応に当たっては、審判団、MC と事前に協議を行ってください。

\*競技会開催時に感染者が発生した場合、あるいは感染拡大（第 2 波）が発生した場合の対応については、

主管委員会及び福島FA事務局、行政等関係機関と協議の上速やかに対応する。